

# 献血にご協力願います



皆さんの勇気と善意で多くの命が救われます

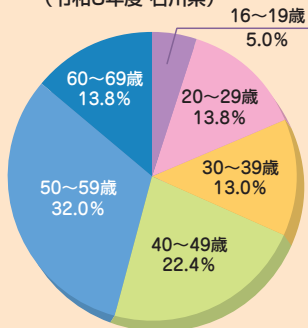
血液は人の生命を維持するために欠かすことのできない成分ですが、科学が進歩した現在でも人工的に造ることはできません。また、血液は長期間保存することもできません。

現在、医療に使用されている血液は、一部を除いて国内の献血により確保されていますが、少子高齢社会の進展により、必要な血液は増加することが予想されます。この一方で、献血可能な人口はだんだん減少しており、この状況が続けば、将来血液の不足が心配されます。

このため、今後も医療に必要な血液を確保していくためには、若い皆さん一人ひとりの協力が必要となります。

## 年代別献血状況

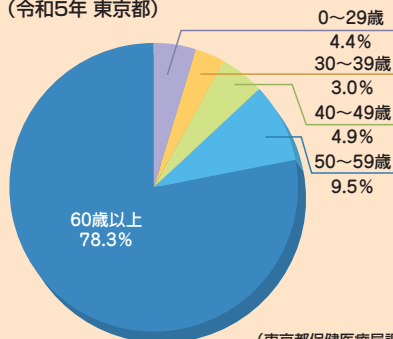
(令和6年度 石川県)



※端数処理しているため合計が必ずしも100%にはならない。

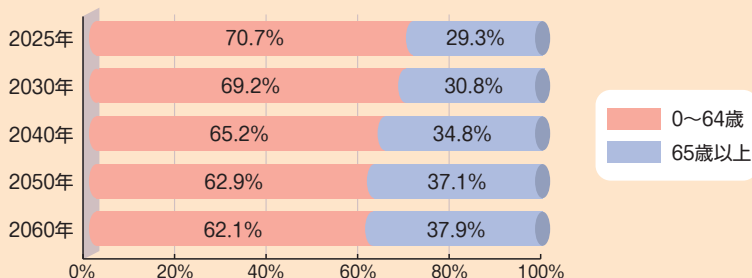
## 年代別輸血状況 (参考)

(令和5年 東京都)



(東京都保健医療局調べ)

## 将来推計人口比



※2025年は人口推計の確定値（総務省統計局調べ）

※2030年以降は将来人口の推計値（国立社会保障・人口問題研究所調べ）

石川県

「はたちの献血」キャンペーン  
についてはこちら



# 献血について知っていますか

## ■ 献血の種類

### 全血献血

400ml献血

200ml献血

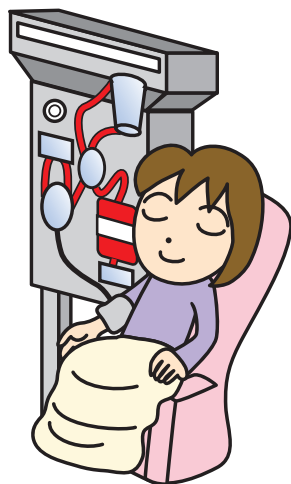
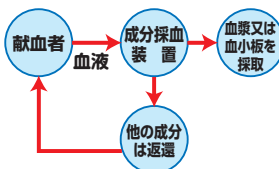
血液中のすべての成分を献血する方法です。

### 成分献血

血漿成分献血

血小板成分献血

成分採血装置を用いて血液中の血しょうや血小板だけを献血する方法です。時間はかかりますが、回復に時間のかかる赤血球を献血者に返すので、体への負担が軽くてすみます。



**400ml献血、成分献血は輸血を受ける患者さんの副作用の発生の可能性が低く、安全性が向上します。**

私たちの体には、自分と少しでも違うものが体内に入ると体を守ろうとする機能があり、同じ血液型の血液を輸血しても、血液は一人ひとり微妙に異なるため、副作用をおこす場合があります。このため、何人もの血液や、複数の種類の血液成分を輸血することで副作用をおこす可能性が高くなります。

200ml献血に比べ、400ml献血、成分献血は少人数の方の血液で輸血に必要な量をまかなうことができるため、輸血による副作用の可能性が低くなります。



下記の施設で献血を受け付けています



このほか、移動採血車が県内の各市町を巡回しています。

献血ルーム くらつき(定休日:日曜日・祝日)  
金沢市鞍月東1丁目1番地 TEL(076)237-3745

献血ルーム ル・キューブ(定休日:月曜日(祝日の場合は開所))  
金沢市袋町1番1号かなざわはこまち3F TEL(076)220-1655

エイズ(HIV)や肝炎の検査を目的とした献血はお断りしています。エイズや肝炎に関するご相談・検査は最寄りの県保健福祉センター及び金沢市保健所で受けられますので、お問い合わせ下さい。

- 石川県赤十字血液センターホームページアドレス <http://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/ishikawa/>
- このチラシに関する問い合わせ先 石川県健康福祉部薬事衛生課・薬事麻薬グループ TEL(076)225-1442